

埋め込みビデオコンポーネント

Maple 17 では、ドキュメント内にビデオを含めることができるようになりました。これらのビデオは、Maple アプリケーションの一部として再生できるだけでなく、ビデオの特定の箇所で Maple アクション (プロットの更新、ボタンの有効化、計算の実行など) を実行するように設定することもできます。

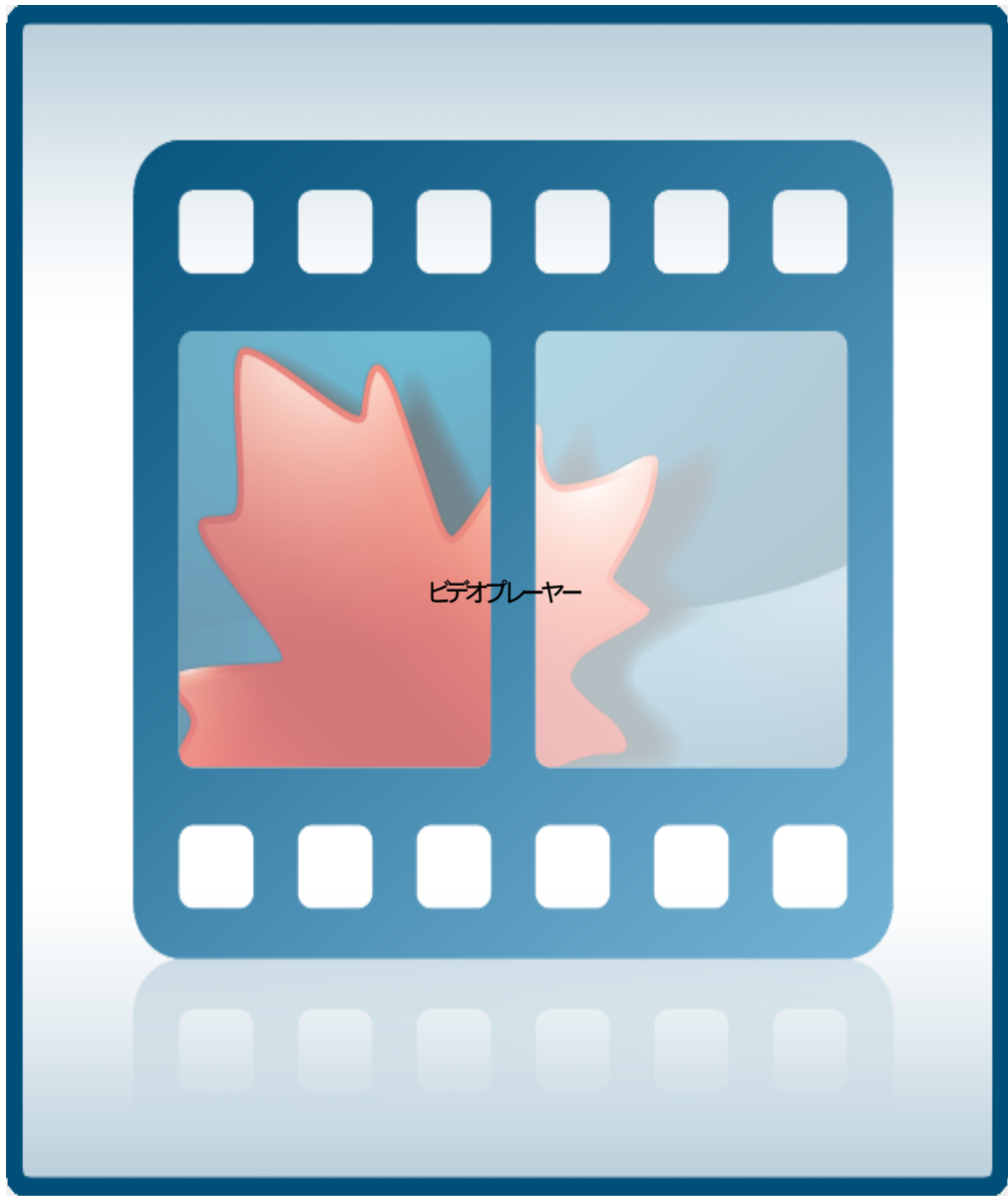
埋め込みビデオコンポーネント機能:

- ドキュメントへのビデオの埋め込み:[コンポーネント] パレットから新しい対話形式のビデオコンポーネントをドラッグ&ドロップし、ビデオファイルを指定します。
- ビデオの再生に合わせたアクションのトリガー:再生中に特定の位置で Maple コマンドが実行されるように指定します。有効なビデオファイルを指定したら、スクロールバーにマウスを重ねて、アクションエディタウィンドウをクリックしてアクションを追加することができます。アクションマーカのタイムライン位置を変更するには、アクションマーカをクリックして別の位置にドラッグします。マーカのコードを編集するには、右クリックして [動作の編集] オプションを選択します。
- ビデオコンポーネントの動作を、対話形式で設定することも、Maple コードを使用して設定することもできます。ビデオファイルを指定するほかに、再生/一時停止/停止の動作も設定できます。
- 連続再生:ビデオファイルを連続して再生するには、[ループ] オプションを設定します。
- プレーヤーコントロールの表示の切り替え:プレーヤーコントロールを完全に非表示にするか、マウスを重ねたときにのみ表示するか、常に表示するかを指定します。
- ファイルオプション:ビデオコンポーネントは、ローカルマシンに保存されているファイル、あるいは、リモートファイル (<http://>形式の URL 参照を使用) を参照することが可能です。またはビデオを mw ファイル内に保存することもできます (最後のオプションを使用すると非常に大きな mw ファイルとなることに注意してください)。
- ビデオファイルのフォーマット:ビデオコンポーネントで現在サポートされているビデオファイルのフォーマットは、flv および ogv です。

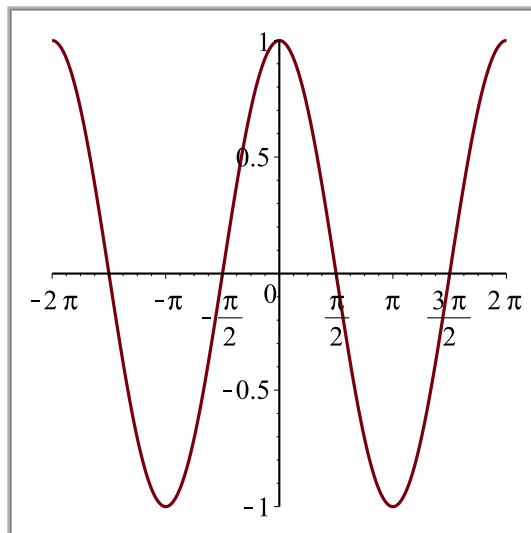
注意 :次の例を完全な対話形式で使用するには、このヘルプページをワークシートとして開き、ワークシートを実行してください。

例:

ビデオファイルを選択し、[コンポーネントプロパティ] ダイアログを使用するか、テキスト領域を使用してビデオコンポーネントにファイルを設定します。ファイルを再生すると、下記のプロットが変わります。通常のコポーネントコントロールまたは DocumentTools コマンドに関連付けられている Maple ボタンを使用して、ビデオの再生を制御できます。

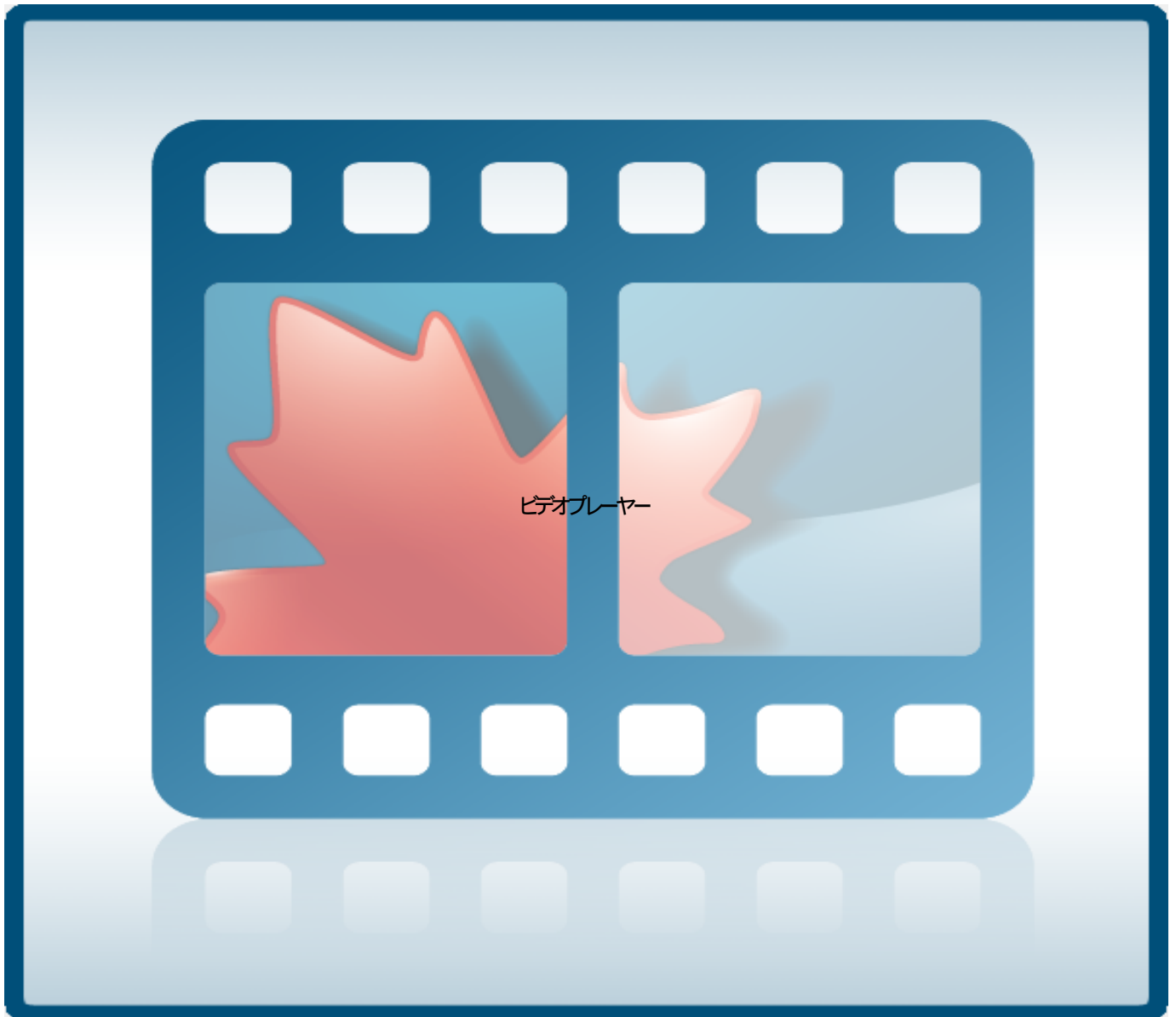


再生 一時停止 停止



les#Maple 17 Silver#data#videos#Wor

次のビデオで、Video Player コンポーネントの使用例を説明します。



参照

[ビデオコンポーネント、埋め込みコンポーネントの概要](#)